

就職活動日記

<内定先>

政府系金融機関

選考フロー：ES+WEB 性格検査→リクルーター面談（1次面接）→2次面接→3次面接→
{先輩社員との面談} →会場 WEB テスト+小論文+最終面接

<スケジュール>

2016/05~2016/11

「短期決戦」、「外資系やコンサルは選考が早い」などの話を聞いていたため、少しずつですが、言われた通り早めに動くよう心掛けました。マイナビなどが実施している SPI の模擬テストを受けてみたり、業界地図や四季報を買ったりしました。スーツも 11 月くらいに買ったと思います。また、インターンの合同説明会に行ったり、1day インターンやセミナーに参加したり、就活に関するイベントにも月 1~2 回くらいの頻度で参加していました。ソフトバンク孫社長の講演を 3 年生の 5 月頃に聞いたのは貴重だったと思います。

2016/12~2017/01

応募抽選型のセミナー1つ

ゼミ活動とレポート提出のピークだったため、活動はそんなにしませんでした。

2017/02

1day インターン 1 社、グループ会社合同セミナー1つ、合同説明会 1 社、個別企業説明会 1 社

筆記試験がある選考直結型の個別企業説明会に初めて参加しました。2 月後半に大熱を出してしまい、自分が 3 月までにやろうと思っていた準備をあまり出来ませんでした。

2017/03

合同説明会 2 社、学内合同企業説明会 2 日間、個別企業説明会 3 社

初面接を経験し、テストセンターでの SPI も 2 回受けました。家の事情で、3 月は解禁直後にも関わらず、活動を抑えていました。また、説明会の予約もすぐ満席になってしまい（学歴フィルターがかかっていた可能性あり）、なかなか思うように動けませんでした。

2017/04

合同説明会 2 社、グループ会社の合同説明会 1 社、個別企業説明会 10 社

ハローワークで ES の添削をしてもらうなど、積極的に動き始めました。複数の会社で面接が始まりました。半ばに 1 社、夏の 1day インターンに参加した企業で、自分が入っても良いと思える企業から初内定を頂きました。そういった企業に早い段階で出会うことができ、

内定を頂けたことは非常に良かったです。早めに動いていて良かったと心から思いました。

2017/05

筆記試験と面接のピーク。2社目の内定を頂きました。

2017/06

6月1日から第一志望群の面接ラッシュ。5月までで筆記試験はほぼ終了していました。

6月中旬～下旬に内定先から連絡を頂き、就活を終えました。

<活用したもの>

業界地図、四季報、マイナビ、リクナビ、キャリアタス就活、あさがくナビ、

ONE CAREER、外資就活、ダイヤモンド就活ナビ、キャリアフル、キャリア大学、

みんなの就職活動日記、転職サイトの口コミ

- ・ONE CAREER とダイヤモンド就活ナビの合説は出展企業が厳選されており、学べることも多かった。大手や省庁、業界トップ企業を狙うなら一度足を運んでみると◎。
- ・キャリアフルとキャリア大学は2年生のときに登録し、省庁やNPOの1dayに参加させてもらったり、様々なイベントに参加できたりした。

<就活の軸>

私は、公共性が高く、様々な業種業界と関わることができ、スケールの大きいことに携われたらいいなと漠然と思っていました。また、小さい頃から国際的なことに関心があったので、何らかの形で国際的なフィールドと繋がれたらいいなと思っていました。就活の軸は、絶対的なものが特に無ければ、なんとなくのイメージだけあればそれで良いと思います。会社に関しては、雰囲気と、ファーストキャリアとしてどうかという観点で見ていることが多かったです。様々な業界を見ましたが、後半は主に政府系機関、海運、金融（リース等）、IT・情報、不動産などを見ていました。

<アルバイト>

アルバイトは就活の期間はしていませんでした。面接はいつ呼ばれるか分かりません。その都度アルバイト先に迷惑をかけるのも申し訳ないですし、自分でもストレスに感じるのが嫌だったので辞めました。そのかわり、就活が終わってから現在まで、新しくアパレル関係でアルバイトしています。6月に就活が終われば半年以上はアルバイトできるので、就活後でも雇ってくれるところは思っているよりあると思います。

<金銭面>

「就活にお金がかかる」というのは本当です。一番お金がかかったのは、交通費でした。私は実家が東京にわりと近かったため、ピーク時でも1ヶ月2万円いかないくらいで済みましたが、それでも東京方面への定期が無いのは痛手でした。スーツ代や写真代、その他諸々を含めると、総じて10万円くらいはかかったと思います。

<合同企業説明会>

全てに参加する必要はありません、というか、そんなことしてたらキリがありません。中には一度も足を運ばない人もいますが、就活のイメージが湧かないなら一度は行っておいたほうが良いと思います。私は、自分が話を聞いてみたい企業が多く来る合説を選んで参加していました。業界が絞れていないうちは、業界ごとにブースが分かれていることが多いので、業界ごとに一つずつ企業を回るだけでも参考になると思います。はじめのうちはほとんどの企業が導入部分で業界動向などについて話してくれます。また、企業によっては説明会の参加回数等を数えて志望度を測る資料にしていたりするので、第一志望群の企業が参加する合説は何回か行ってみても良いと思います。合説はテーマごとに開かれていることも多いので、興味のあるものに行ってみれば良いと思います。

<インターン>

参加していると有利というのは少なからずあると思います。特に外資系はインターンが本選考になっていて、最終面接か内定パスをもらえるケースが多いようです。ただ、日系の多くのインターン選考の場合、インターンはインターンであり、本番に比べたら難易度は高くないと思うので、失敗を恐れず早くからどんどん挑戦してみると良いと思います。本番同様、SPIや面接を受けさせられたりすることが多いので、その雰囲気やテストセンターでの流れを知っておくだけでも気持ちの余裕が違うと思います。ただ、インターンに参加してもしなくても、受かるときは受かるし、落ちるときは落ちるので、あまり深く考える必要は無いです。私は1dayのものしか行っていません。

<履歴書・ES>

履歴書や封筒、成績証明書といった証明書類は急に必要になることもあるので、常に家にストックしておきました。はじめの頃はESに書きたい内容がまとまらず、ハローワークの方にお世話になりました。ESはその後の面接で深掘りされることが多く、かなり重要になるので、完成度を上げることを大切にしていました。ESがしっかり書けていると、その後の面接の準備もしやすいです。そのためにも、ESの内容は必ず保存して見直せるようにして下さい。また、提出する業界や企業の色に合わせて自分をPRするエピソードを選ぶことも必要だと思います。

<筆記試験>

SPIテストセンターは3回くらい受けてから使い回しました。私の場合、SPI、TG-WEB、TAL、GABが多かったように思います。ITや大手、政府系は独自の筆記試験や小論文が課されることが多かったです。SPIの問題は早めに練習しておくのと他の種類のテストでも役立つと思います。ただ、どんな試験にせよ、予め形式を知っておくことは重要だと思います。筆記試験で感じる難易度は人それぞれ違いますが、大学入試の受験勉強や公務員試験の勉強をしていれば、そこまで神経質になる必要はないと思います。私自身、筆記試験の段階ではほとんど落ちませんでした。

<面接>

ある程度頭の中で質問予測とそれに対する自分の返答を考えておく必要はありますが、あまり肩肘張らず、お互いの理解の場と捉えて、普通に会話しに行くくらいのスタンスでいたほうが上手くいきました。ただ、内定先の最終面接では、なぜ他の業界ではダメなのか、なぜ金融（銀行）なのか、なぜウチなのかを今まで以上に問われました。自分の準備が甘かったため、うまく答えられず、落ちたと思いました。業界研究はしっかりやったほうが良いと思います。質問攻め（やや圧迫？）に遭うこともありましたが、そんな時はなるべく冷静かつ笑顔で、堂々としていることを心がけました。志望度が高い企業ほど熱意を見せることが重要だと思います。また、最後に逆質問の時間があることが多いですが、かなり重要なので、しっかり準備しておいた方が良いと思います。面接官の年次に合わせた質問ができるとなお良いと思います。

<就活の相談>

キャリアセンターやハローワークなど色々ありますが、私は自宅生で、3年生で卒論以外の単位を全て取り終わっていたので学校はゼミの日しか来ないし、定期も作っていなかったもので、実家の近くのハローワークを主に利用しました。ハローワークの方は親身になって相談に乗ってくれ、ES添削や面接の模擬練習など、こちらの希望に応じて毎度適切なフォローをしてくれました。また、親とは違い、就活に関するES等の具体的なことまで話せるので、学校に行けない状況の中では非常にありがたい存在でした。

<資格>

資格は、就活を意識して取ったものはありません。資格欄には、英検、TOPIK、自動車免許と、数年前に受けたTOEICを書いていました。持っているものは書いておくと、珍しいものだと面接のときにネタになります。また、志望業界に関連する資格を何か持っている、熱意が伝わって志望の説得力が増すので、簡単なものでも取っておくとより良いと思います。自動車免許は企業や職種によっては必須のところがあったので、就活前までに取っておくと安心だと思います。

<就活を通して>

自分が少しでも気になる企業や志望度が高い企業は、周りを気にせず、悔いのないように、本気で挑戦すべきだと思います。たとえ落ちても、やらないで後悔するよりずっと良いです。ただ、落ちたときに、「しょうがない」と割り切れる精神は大切だと思います。あまりムキになって焦りすぎたり、周囲からの情報に惑わされたりせず、マイペースを保ちながら進めていくと、自分をコントロールしやすくなるのではないのでしょうか。新卒の就活は、あらゆる業界を存分に見て知れる唯一の機会であり、行くところ行くところで様々な形で誰からも応援してもらえる貴重な機会だと思うので、前向きに捉え、楽しみながら動いてみて下さい。

また、大学の成績や、卒業までに必要な残りの単位数を提出するところもけっこうあった（特に政府系）ので、そこそこ良い成績を取めながら、早めに単位を揃えることをお勧めします。

自分が納得いくまで、最後まで頑張ってください。